



自分で決めて行動すること

午後のおやつを食べた後、遊びが盛り上がってしまったYちゃん。帰りの送迎の時間になって「Yちゃん、帰るからお帰りの用意をしてください。」と声をかけるも、無反応。J先生が「お帰りの準備しないで遊んでいるの？」と尋ねると、「うん、遊んでるの」心配になったお兄ちゃんのKくんが「Yちゃん、帰らないとお泊りだよ。すまいるにお泊りするの？」と確認すると

「お泊りするの」と遊び続けていました。バスを出す前にもう一度「Yちゃん、今、帰らないとお泊りすることになるけど、大丈夫？」と確認しても「うん、おとまりする」との返事でした。

後ろ髪をひかれるKくんでしたが、Yちゃんを置いて、帰りました。

Yちゃんは、遊びが盛り上がっていたので、楽しくて楽しくて・・・でも、しばらくすると一人帰り、二人帰り・・・だんだん友だちが帰って残っているメンバーが少なくなってきました。ちょっと不安そうな顔をするけど、自分で決めたこと。『遊んでる。お泊りする。』後には引けない状態です。

「Yちゃん、お泊りするなら、夕ご飯食べなくちゃね。」「ご飯食べる？」と尋ねると「うん、食べる」とご飯を食べ、カバンを置いているお部屋にいき自分で鍵を閉め、お布団にくるまって寝る体制です。「Yちゃん、お泊りする場所は、ベッドのお部屋だよ。こっちこっち・・・」と職員室のベッドへ導き、「お洋服汚れているね。パジャマがないから、このTシャツと半ズボン履いてねよう！」と伝えると、不安そうな顔をしているものの、さっさと着ている服を脱ぎ、着替えたYちゃんでした。もう、眠かったのです。ベッドに入って、タオルをかけて数分もしないうちに寝てしまいました。声をかけてもおきませんでした。

このまま朝を迎えても、大丈夫そうでしたが、J先生が「私、帰るね」と挨拶する声で、「私も帰る」とひょこっとお起きて、帰り支度を始めた、Yちゃんです。「帰るの?」「うん、帰る」20分くらい眠ったので、泊まった気分のYちゃんでした。泊まったことをお父さん、お母さんにほめてもらいました。

このYちゃんの行動をどうとらえますか？

自分で考えて行動したのです。不安だったけど、気持ち的には泊まったのです。家についてからお母さんに抱き着いて、なかなか寝付かなかったそうです。不安一杯だったのでしょう。でも、ちょっとでも「泊まれた」ことは、Yちゃんの自信につながりました。

自分で決めて行動するという事は、自分に責任があります。そこには、不安があったり、困ったことが起こったりするかもしれませんが、それも含めて自分の責任です。自分で決めたのですから。自分で決めた事を実行できる機会を通して、自分でできること、できない事を体験しつつ、判断する力が備わっていくことを願っています。

基本保育時間は、
7:30~18:30 です。
7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。



<お知らせ>

- デルタ株が猛威を振るい始めました。大人が感染症対策をしていくことで、子どもたちを守っていきたいと思います。手洗い・消毒・マスク・うがい・喚起に気をつけて過ごしたいと思っています。
- 体調が悪い時は無理をせずに体を休ませるようにしましょう。朝・日中・夜の気温差が激しいです。体を冷やさないように過ごしましょう。

